

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 41

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06(6772)2320
FAX. 06(6772)2327
E-mail:hrcrc@at.wakwak.com



会長 百 濟 洋 一
会長エレクト 切 石 博 之
副 会 長 瀧 田 浩 彦
幹 事 三 木 武 志
会報委員長 福 岡 康 民

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

ロータリーの未来はあなたの手の手に

2009~2010年度 国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

第 1771 例会 平成 22 年 6 月 21 日 (月曜日) 第 41 号

本日の例会

6月21日(月)第3例会

- ◎ソング 「奉仕の理想」
◎卓 話 「会長年度末挨拶」
百 濟 洋 一 会長
◎本日の献立 ブッフェ
◎6月28日(月) 定款による特別休会

次回の例会

7月5日(月)第1例会

- ◎卓 話 「会長挨拶並びに新年度方針説明」
会 長 切石博之
会長ノミネー 浅野光男
副会長(クラブ奉仕委員長) 宮崎康治
幹 事 細川勝治
◎本日の献立 寿司盛り合わせ

前回の例会記録

6月14日(月)第2例会

- ◎ピジター 八尾中央RC 林 明雄氏

会 長 挨拶

会長 百濟洋一

ロータリーの社会奉仕について述べてみたいと思います。ロータリークラブには、それぞれ所在地域があります。ロータリアンは、その地域社会で仕事をしていたり、住んでいたりしますが、その身近な地域社会の中で、いろいろなニーズを見つけて奉仕活動をしています。

地域社会への奉仕活動をロータリーでは社会奉仕と呼んでいますが、初めての奉仕は、シカゴのダウンタウンに公衆便所を作ったこととされています。当時は、女性が使えるものは百貨店の中しかなく、男性は居酒屋を使わなければなりません。今では当

り前の公衆便所ですが、当時はこの設置に、強い反対があったようです。

地域社会での奉仕活動としては、例えば小・中学生を対象にスポーツ大会を開催したり、作文や絵画のコンテストをしたり、学校で自分の職業体験を話す、という活動をしているクラブもあります。時計塔や地域の案内板、ベンチを贈ったり駅や公園などの清掃活動をするクラブもあります。

これらの活動をするときに大事なことは、ニーズにあった活動することだと思います。地域社会には、数え切れないくらい多くのニーズがあります。そのニーズを見つけ、地域社会の人々に本当に喜んでもらえる活動をしたいものです。

幹事報告

幹事 三木武志

1. 今年度、各委員会委員長には活動報告書の提出をお願い致します。次年度、各委員会委員長には概況報告書用活動計画書の提出をお願い致します。
2. 次週、6月21日(月)は本年度最終例会となります。全員参加をお願い致します。

出席報告

岡田委員

| | |
|---------------|--------|
| 本日の会員数 | 41名 |
| 本日の出席者数 | 30名 |
| 本日の出席規定適用免除会員 | 15名 |
| 本日の出席率 | 90.91% |
| 5月31日の修正出席率 | 87.50% |

SAAニコニコ箱

大石副SAA

岩崎会員 第4回ゴルフ同好会で良きハンディーにめぐまれ優勝させて頂きました。

松岡会員 いつもお世話になりありがとうございます。

委員会報告

親睦活動委員会

委員長 浅野光男

6月10日(木)第4回ゴルフ同好会を飛鳥カントリー倶楽部にて開催いたしました。

*成績報告 優勝 岩崎史郎会員
準優勝 西村啓三会員
3位 松岡 武会員

卓話

「趣味の神社めぐり 後編」

大石忠克

本日は「趣味の神社めぐり」と題して後編をお話させていただきます。前回は初めての卓話であり、非常に緊張して、肝心な話を3分の1強も残したまま時間が来てしまいました。本日は残ってしまった内容を最初にお話をさせていただきます。また、前回は反省し、位置関係など簡単なガイドも含めて進めさせていただきます。

近鉄奈良線の瓢箪山に瓢箪山稲荷神社があります。大きな神社ではありませんが伏見稲荷、豊川稲荷と並び日本三大稲荷神社の一つとされています。

枚岡市には2600年以上の歴史を誇り、日本の歴史の転換点に関わった神社が幾つかあります。河内湖—紀元前6000~5000年頃、海水が河内平野へ進出し、上町台地の東部に河内湾が形成されていました。その後、上町台地の砂が湾の入り口をふさぎ、淀川、大和川によって淡水化が進んで、河内湖と呼ばれていました。そして今から2600年前、この地に日本国創建にまつわる歴史的戦場がありました。

孔舎衛坂の戦い—現在、建国から2670年、第一天皇である神武天皇が日本国統一を行い、大和奈良に都を遷すために九州から東進し、難波の津に到着したあと、旧枚岡市にあたる草香津に上陸しました。この地で神武天皇の大和入りを拒絶する先住の長髓彦を中心とした奈良、河内の豪族連合との間で大きな戦いがありました。

滝田方面—現在の東大阪市の善根寺町と日下町から生駒山上のいたるところに孔舎衛坂という地名があり、両軍の大きな戦いが始まりました。

太陽神—非常に激しい戦いが七昼夜も続き、地の利を得ない神武天皇軍は大変不利な状況であったようです。戦局不利を悟り、退却を決め、天神地祇を祀って戦勝を祈願されたとあります。その時に祀られたところが神津嶽と呼ばれる現在の枚岡神社の始まりであると伝えられています。その後、現在の神社より上の上石切町に上之宮として祀られ創建されたのが石切神社の始まりのようです。また、奈良大和入りの無事と東遷を祈願して祀られたのが、生玉さんと呼ばれる現在の生玉神社です。

その後—草香津から船に乗り、紀州方面から再び大和入りを目指しますが、おり悪く嵐となり船は水上を漂流、皇祖神に無事を祈願したところ嵐が収まって小高い陸地に着くことが出来ました。船をとめ、東遷の御偉業達成を祈るために船山の地に天孫降臨のご祖神であるニギハヤヒの命を祀られたところが梶無神社です。歴史の喪失—日本の歴史の時代の転換点には常に大きな戦いがあり、色々な書物等で知ることができます。ただ、500年以前の歴史を知ることは難しく、その伝わらない時代の歴史を、神社の歴史から沢山知ることができるので、趣味の神社めぐりは大変楽しい趣味だと思っています。

ここまでが前編で残った肝心なところですが、ここから後編に入らせていただきます。神社の名称の名づけられ方にはいくつかの種類があり、一般的には地名、また、祭神名を冠するものも多くなっています。近代社格制度—明治初期、政府による神仏分離令により神社寺院は分離されました。また、等級化すべく社格制度がつくられました。伊勢神宮のみ国家神道の頂点として位置付けられ、格付けはなされていません。社号—天皇や皇室祖先神を祭神とする神社を神官と呼ぶことが多く、昭和20年以前は大社・神官を名乗るためには勅許が必要でした。また、神社にはそれぞれ縁の深い鳥や動物があり、神の御使いとされています。神社参拝の作法—神頼みなどする時、作法に則った頼み方をした方が、神様も気持ちよく願ひ事をかなえて下さるでしょう。(参道・手水舎・参拝・二礼・二拍手・一礼)神社によって作法が異なる場合があります。

即位の礼は天皇の地位継承を公式に内外に示す公開の儀式です。儀式を執り行った後、天皇・皇后両陛下は伊勢神宮の歴代天皇陵への参拝をへて、正式に天皇とされます。神社には一年を通して数多くの例祭や祈年祭があり、最も重要な例祭が2月11日に行われる紀元祭と11月23日に行なわれる新嘗祭です。結び—この様な伝統的儀式が1000年2000年といちども諸略消失することなく綿々と受け継がれ、総ての神社の頂天にある伊勢神宮におきましても鎮座されて以来2000年もの間、一日に執り行われている祭礼や一年を通じて行なわれるすごい数の祭礼も、一度の休みも無く脈々と執り行なわれ受け継がれているすばらしさは、世界に例を見ないすごさではないかとおもいます。人は、自分の力だけで生きているのではなく目に見えない大きな力にもいかされていると考えて、機会があれば是非神社にも参拝をしていただいて、由緒のパンフレットなども見ていただきながら、作法にのっとった礼拝で祈願されることによって御利益をいただいもらえば幸いです。簡単ではありますが、これで私の卓話を終わらせていただきます。

※紙面の都合上、要約させていただきました。